

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2018年10月31日 No.459
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526(F)/805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

日本政府は条約を批准せよ！ 軍縮週間、ピースパレードで市民にアピール

国連軍縮週間（10月24日～1週間）にちなんで岡山県原水協と新婦人県本部は共同して10月27日「核兵器禁止条約1周年・国連軍縮週間記念」ピースパレードを行いました。

あいさつに立った中尾代表は「禁止条約に69カ国が署名、19カ国が批准しています。唯一の戦争被爆国日本政府はこの条約に背を向けています。『ヒバクシャ国際署名』を積み上げ日本政府に批准を迫りましょう」と訴えました。岡山「被爆2世・3世の会」の柏菅さんは「広島で被爆した父は死ぬ間際『あんなむごい戦争は絶対だめだ』と言って死んだ。核兵器をなくすまで頑張る。訴えました。参加者は岡山駅前までデモを行い市民に訴えました。



岡山「被爆2世・3世の会」が総会

会員要求に応え多彩な取り組み



20 岡山「被爆2世・3世の会」は10月14日岡山市内で第4回総会と記念講演会を行いました。結成3周年、会員の要求にこたえる様々な取り組みや、平和を願う人々との連帯行動、被爆体験の継承・実相普及、核兵器廃絶など多彩な取り組みを進めてきました。

2019年11月に岡山で開催予定の第4回「被爆2世・3世連帯と交流のつどい」の成功を確認しました。記念講演は青木康嘉氏が「佳木斯（ジャムス）の看護婦」と題してシベリヤ抑留された看護婦の実態を講演されました。



写真は岡山市内シンフォ二前の集会后、岡山駅に向けて出発する参加者。傘には折鶴がぶら下がっています。

西日本豪雨被災者にちひろカレンダーを届けよう

真備町266戸、総社市32戸の仮設住宅で年越しされる被災者に愛と平和のちひろカレンダーをお届けし、少しでも明るい気持ちで新年を迎えていただけるよう、皆さんのご協力をお願いします。募金は各組合・組織・団体でとりまとめ県原水協にお寄せ下さい。締め切りは11月末。

